

## &lt;資 料&gt;

## 和牛産肉能力検定（直接法：平成17年度）

平本圭二\*

## Individual Performance Test of Sire in Japanese Black Cattle

Keiji HIRAMOTO

## 要 約

候補種雄牛を雄子牛から選抜するため、社団法人全国和牛登録協会の定める産肉能力検定（直接法）を実施した。

- 1 平成17年度には14頭の直接検定を実施し、そのうち12頭の検定が終了した。
- 2 検定終了牛の平均DGは、1.20kg、平均得点は83.1点であった。
- 3 検定成績、血統、体型等を総合的に評価した結果、「春糸藤」、「花茂玉」、「新糸藤」、「第11実」及び「西藤(2005子岡黒116)」を候補種雄牛として選抜した。

キーワード：牛、和牛、種畜、産肉能力検定（直接法）、増体量

## 緒 言

和牛経営においては、繁殖雌牛の産肉性及び種畜性の改良が大きなウエイトを占めており、優良種雄牛の作出が急務である。

そこで、県内優良雌牛から生産された産肉性及び種畜性の優れた雄子牛について、増体性、飼料効率及び種畜性を判定するため、産肉能力検定（直接法）を実施した。

## 材料及び方法

## 1 検定牛

肉用牛広域後代検定推進事業により認定された基礎雌牛等の産肉能力育種価の高い繁殖雌牛から生産された雄子牛について産子調査を実施し、発育状況等の優れたものについて検定牛として選抜した。

平成17年度検定実施の検定牛は表1に示したとおりで、父牛別にみると「糸藤」（大分県）の産子が8頭、「花茂勝2」の産子が4頭、「沢茂勝」及び「藤姫丸」の産子が各1頭の計

表1 検定牛の概要

セットNo.	名 号	生年月日	登録番号	血 統			産 地	検定期間
				父	母	母の父		
H16-4-1	春 糸 藤	H16.05.19	04子受卵岡黒 991	糸 藤	第2きたはる	北国7の8	美咲町	H17.01.12
	2 花 安 保	H16.05.01	04子受卵岡黒 990	花茂勝2	第13やすほ	糸 藤	美咲町	
	3 花 茂 玉	H16.04.30	04子岡黒5323	花茂勝2	第43たま	紋 次 郎	哲多町	～ H17.05.04
H17-1-1	西 藤	H16.08.29	04子受卵岡黒 864	糸 藤	にしひめ7	第12西丸	高梁市	H17.04.14
	2 新 糸 藤	H16.09.10	04戸受卵岡黒1325	糸 藤	しんはつひめ1	利 花	新庄村	
	3 旭 天 成	H16.08.17	04子受卵岡黒1389	糸 藤	第6ふくみ	糸 藤	美咲町	
	4 第 1 1 実	H16.08.01	04子岡黒5484	糸 藤	第64みのも	糸 藤	新見市	～ H17.08.04
H17-2-1	西 藤	H17.01.20	05子岡黒 116	糸 藤	はつはな8の11	平 茂 勝	高梁市	H17.08.10
	2 煌 星	H16.12.11	05子受卵岡黒 302	糸 藤	第13やすほ	糸 藤	美咲町	
	3 直 原 藤	H16.12.03	05子受卵岡黒4033	糸 藤	第45たま8	北国7の8	津山市	～ H17.11.30
H17-3-1	花 平 茂	H17.04.08	05子岡黒5345	花茂勝2	いとはな11	平 茂 勝	新見市	H17.11.30
	2 美咲新星	H17.03.31	05子岡黒 609	藤 姫 丸	ひらしげとし1	平 茂 勝	美咲町	～ H18.03.22
H17-4-1	西 福 花	H17.08.29	05子岡黒5556	花茂勝2	ふくひめ9	利 花	新見市	H18.03.22
	2 新 初 英	H17.07.07	05子岡黒1117	沢 茂 勝	しんはつひめ	利 花	新庄村	～ H18.07.12

14頭であった。

また、平成17年度検定終了したものは、平成16年度開始分が3頭、平成17年度開始分が9頭の計12頭であった。なお表2に検定牛の産肉形質に係る期待育種価をランクについては表3から転記した。

## 2 検定方法

検定方法は、社団法人全国和牛登録協会の定める和牛種雄牛産肉能力検定法（直接検定）に準拠し、次のとおり実施した。

- (1) 検定開始月齢：6～7カ月齢
- (2) 検定期間：112日間
- (3) 検定飼料

## 3 検定調査項目

1日当たり平均増体量（DG）、365日齢補正

表2 検定牛の産肉能力期待育種価

セットNo.	名号	期待育種価		
		枝肉重量	ロース芯面積	脂肪交雑
H16-4-1	** 春糸藤	—	—	—
	2 花安保	63.154 (3%)	7.745 (5%)	1.138 (5%)
	3 花茂玉	37.626 (A3)	4.059 (B1)	1.256 (3%)
H17-1-1	** 西藤	—	—	—
	** 新糸藤	—	—	—
	** 旭天成	—	—	—
	** 第11実	—	—	—
H17-2-1	** 西藤	—	—	—
	** 煌星	—	—	—
	** 直原藤	—	—	—
H17-3-1	花平茂	82.694 (1%)	4.298 (B1)	1.384 (1%)
	* 美咲新星	16.026 (C)	0.617 (C)	1.231 (3%)
H17-4-1	西福花	39.322 (A3)	6.301 (A1)	1.393 (1%)
	2 新初英	35.654 (A3)	8.898 (1%)	1.561 (1%)

注1) ( )内はランクを示す

- 2) 期待育種価は両親の推定育種価から算出
- 3) 美咲新星(\*印)は祖母の育種価から期待育種価を算出
- 4) \*\*印は父牛の育種価が不明のため未記入

資料：育種価は第22回育種価(H17.10公表)を使用

体重、飼料要求率、体重（2週間毎）、各部位測尺（4週間毎）、終了時審査得点

## 検定成績

平成17年度に検定が終了した12頭について、検定成績を表4に示した。

### 1 増体量

1日当たりの平均増体量は、最高1.53kg（西藤,17-1-1）、最低0.96kg（美咲新星）、平均1.20kgであった。

また、365日齢補正体重は、最高483.3kg（西藤,17-2-1）、最低372.6kg（美咲新星）であり、平均で421.3kgであった。

表3 育種価ランク表

ランク	範囲
1%	上位1%以上
3%	上位3%以上1%未満
5%	上位5%以上3%未満
A1	上位10%以上5%未満
A2	上位15%以上10%未満
A3	上位25%以上15%未満
B1	上位1/3以上25%未満
B2	平均以上上位1/3未満
C	平均未満

表4 検定成績結果

(kg, %, cm, 点)

セットNo.	名号	1日平均増体量	365日齢補正体重	飼料要求率		粗飼料摂取率	産地		
				DCP	TDN		体高	発育	審査得点
H16-4-1	春糸藤	1.21	434.2	0.62	4.71	55	123.0	3-(5)	84.7
	2 花安保	1.38	427.9	0.55	4.17	55	125.0	4-(5)	83.8
	3 花茂玉	1.21	415.2	0.61	4.60	54	123.6	3-(5)	83.0
H17-1-1	西藤	1.53	469.3	0.48	3.70	58	128.0	4-(5)	82.0
	2 新糸藤	1.14	402.2	0.55	4.28	58	123.0	3-(5)	83.0
	3 旭天成	1.04	390.5	0.64	4.92	57	118.0	2-(3)	82.0
	4 第11実	1.21	404.4	0.58	4.38	55	122.8	3-(5)	85.0
H17-2-1	西藤	1.28	483.3	0.54	4.12	55	125.3	4-(5)	83.6
	2 煌星	1.01	383.1	0.66	5.14	58	121.3	3-(5)	82.7
	3 直原藤	1.11	394.3	0.61	4.73	58	123.6	3-(5)	82.4
H17-3-1	花平茂	1.34	478.8	0.56	4.14	52	128.7	5-(4)	84.2
	2 美咲新星	0.96	372.6	0.66	5.00	54	118.8	2-(3)	81.2
平均		1.20	421.3	0.59	4.49	56	123.4		83.1

## 2 飼料要求率及び粗飼料摂取率

飼料要求率は、DCP で最高 0.48kg（西藤, 17-1-1）、最低 0.66kg（煌星及び美咲新星）で平均 0.59kg であった。

TDN では最高 3.70kg（西藤, 17-1-1）、最低 5.14kg（煌星）で平均 4.49kg であった。

また、粗飼料摂取率は、最高 58 %（西藤, 17-1-1、新糸藤、煌星及び直原藤）、最低 52 %（花平茂）で平均 56 % であった。

## 3 終了時の発育及び審査得点

終了時の体高は、平均 123.4cm であり、12頭中 10 頭が社団法人全国和牛登録協会の定める和牛発育標準（雄）の平均を上回る成績であった。

また、審査得点は、最高 85.0 点（第11実）、最低 81.2 点（美咲新星）で平均 83.1 点であった。

## 4 候補種雄牛の選抜

岡山県和牛改良委員会において、直接検定成績、血統及び体型等の結果を総合的に協議した結果、「春糸藤」、「花茂玉」、「新糸藤」、「第11実」及び「西藤(17-2-1)」を候補種雄牛として選抜した。

なお、「花平茂」及び「美咲新星」については、平成 18 年度の委員会で審議するため、結果保留とした。

## 参考文献

- 1) 和牛登録事務必携（平成 17 年度版）．（社）全国和牛登録協会編．158-160

